

9:30	受付開始	
10:00~10:10	開会挨拶	吉田 眞 日本クラウドセキュリティアライアンス会長 東京大学名誉教授
10:10~10:50	GSA CEO 講演	Jim Reavis CEO, Cloud Security Alliance (同時通訳)  「The Future of Cybersecurity will be found at the Intersection of Cloud and Blockchain」  Cloud computing has recently surpassed traditional on-premise computing as the dominant IT system. Additionally, Cloud now forms the foundation of leading cybersecurity solutions and is the platform of choice to secure all forms of computing, including Internet of Things. In this presentation, Cloud Security Alliance CEO Jim Reavis discusses the challenges and opportunities ahead for a “Cloud first” cybersecurity strategy and the surprising role Blockchain will have in reshaping the cybersecurity industry. Jim will also provide a preview of CSA’s research roadmap convergence on Cloud and Blockchain. クラウドコンピューティングは、主要なサイバーセキュリティソリューションの基盤を形成しており、IoT を含むあらゆるコンピューティングを保護するための最適なプラットフォームになっています。本講演では、「Cloud first」におけるサイバーセキュリティ戦略の今後の課題と機会、およびブロックチェーンがサイバーセキュリティ業界の再構築に果たす驚くべき役割について説明します。また、クラウドとブロックチェーンについての GSA のロードマップについて説明します。
10:50~11:10	コーヒープレーク / 展示紹介 / 協賛企業展示	
11:10~11:50	招待講演 1	中村武宏氏、株式会社 NTT ドコモ 執行役員 5G イノベーション推進室長  「5G のリアルと未来」  5G は本年より世界的に本格商用段階に入っています。これに向け、5G の多くのユースケースの実証実験が進められています。その一方で、5G の真の性能や課題が明確になりつつあり、これら課題を考慮した 5G のさらなる性能改善に向けた検討の必要性が高まっています。本講演では、5G の真の性能に関する実証実験結果やユースケース開発の取組状況を述べます。さらに、性能改善に向けたコンセプト及び実証実験結果について述べます。
11:50~13:00	昼食休憩 / 協賛企業展示	
13:00~13:40	協賛講演 1	ジェフ モルツ (Jeff Multz) 氏、SecureWorks Japan 株式会社 代表取締役社長 グローバル・セキュリティ・エバンジェリスト (同時通訳)  「クラウド時代に向けて変化するセキュリティ対策・運用」  セキュリティ対策・運用は攻撃手法や環境の変化に伴って、日々最適解が変化しています。当社は年間 1,200 件を超えるインシデント対応を通じて、どのように対策・対応すべきだったかの知見を蓄積してきました。本セッションでは、クラウド活用が本格化する現在において、どのようなセキュリティ対策・運用を目指すべきかについて解説いたします。
13:40~14:20	招待講演 2	畔上文昭氏、週刊 BCN 編集委員  「基幹システムでのクラウド採用は 20% 以下!? ~変わらない現実をどう捉えるべきか~」  多くの企業が経営課題として挙げるようになったビジネス変革の実現に向け、クラウド活用は重要な選択肢の一つです。クラウドファーストは、もはや一般的となりました。ところが、情報化の伝統的な分野である基幹システムにおいては、80% 以上がオンプレミス環境になるとされています。クラウド活用は適材適所ということで落ち着くのか否か。コンテナやサーバーレスなどの実行環境の進化、DevOps や DevSecOps による開発プロセスの変革、量子コンピューターの動向などを踏まえながら、クラウドビジネスの今後を考察します。
14:20~15:00	協賛講演 2	Jason Garbis, Vice President of Products at Cyxtera, Co-Chair GSA Software-Defined Perimeter Working Group, テクマトリックス株式会社提供 (同時通訳)  「Can you trust your eyes? Using a Software-Defined Perimeter to achieve Zero Trust」  In our digital world, trust must be earned. This is challenging, due to the limitations of traditional network security solutions. This session introduces the

		<p>Software-Defined Perimeter, a modern security architecture, and explains how it can be used to achieve Zero Trust for scenarios such as remote access, Cloud access, and IoT Security.</p> <p>デジタルの世界では、信頼を得る必要があります。ただ、従来のネットワークセキュリティソリューションには限界があり、これは困難です。本講演では、最新のセキュリティアーキテクチャである Software-Defined Perimeter をご紹介し、これを活用し、リモートアクセス、クラウドアクセス、IoT セキュリティなどのあらゆる場面でゼロ・トラストを実現する方法をご説明します。</p>
15:00~15:20		<p style="text-align: center;">コーヒーブレイク / 協賛企業展示</p>
15:20~16:00	招待講演 3	<p>松田洋平氏、経済産業省 商務情報政策局 情報経済課長</p> <p>「今後のデータ政策とクラウドサービスの安全性評価について」</p> <p>Society5.0 が目指す、サイバー空間とフィジカル空間が高度に融合したスマート社会においては、データ・ガバナンスのあり方が重要であり、安倍総理はダボス会議において DFFT（データ・フリー・フロー・ウィズ・トラスト）を掲げました。様々な ICT サービスの基盤であるクラウドサービスにおいても、この「トラスト」が重要となります。政府もクラウド前提化に舵を切る中、政府の今後のデータ政策と、クラウドサービスの安全性評価制度の概要を紹介いたします。</p>
16:00~16:40	協賛講演 3	<p>Dave Leno, Director, Secure Software Engineering at Adobe. (同時通訳)</p> <p>「Using Automation to Help Achieve Security in a Multi-cloud Environment」</p> <p>Adobe is a multi-cloud, multi-platform company. We have a large and growing footprint in multiple public clouds, as well as a significant private cloud fleet. Mergers and acquisitions have also increased the complexity of our infrastructure over time, necessitating standardization on a comprehensive operational security platform. Adobe, like many other companies, is also moving from host-based to container-based infrastructure. This presents a need for some novel approaches to help secure our entire platform stack. To help with consistency in security policies and compliance, it is best to invest in infrastructure that automates as much as possible. The cloud operational security stack represents the standard software services and tools required for monitoring and remediation of security issues across Adobe. This stack also represents a set of tools that are used to identify issues, notify teams, and track progress towards remediation. This session will discuss what we believe are the most critical components in developing an increasingly automated multi-cloud operational security stack.</p>
16:40~17:20	招待講演 4	<p>亀田治伸氏、アマゾンウェブサービスジャパン株式会社 エバンジェリスト</p> <p>「クラウドネイティブなアプリケーション開発に見るセキュリティ」</p> <p>クラウドが IT のキーワードとして普通に使われるようになってきており、クラウドコンピューティングはさらに多くの技術を取り込みながら、様々なサービスを生み出しています。Application 開発の最前線では、これらの機能をフル活用したクラウドネイティブと言われるアプリケーション開発手法が生まれています。これらの開発手法を採用した場合、セキュリティの考え方も従来と異なってきます。この講演ではクラウドネイティブ型アプリケーション開発に取り組む際に考慮すべきセキュリティの考え方ををご紹介します。</p>
17:20~17:30	閉会挨拶	<p>諸角昌宏 日本クラウドセキュリティアライアンス 業務執行理事/事務局長 CCSP, CCKS, CSA リサーチフェロー</p>